



～12月に園内で発生した感染症～

- ・インフルエンザ A 型
- ・アデノウイルス (解熱後、2日間は出席停止です)
- ・溶連菌感染症

(抗生剤内服開始後24時間が経過していて全身状態が良ければ登園可)

・下痢、嘔吐 **流行中！！**

胃腸風邪後の登園は、

- ・普通便が出ている
- ・最後の嘔吐から24時間経過している
- ・食欲が戻り、普通食が食べられる

この状態になったら  
登園できます。

お子さまが**感染性胃腸炎**になったら



**感** 染性胃腸炎は、ノロウイルスなどのウイルスや細菌に感染して、腹痛や下痢、嘔吐、発熱などの症状が出ます。嘔吐や下痢の場合は、こまめな水分補給をして、脱水症状に気を付けてください。

また、吐物や便にはウイルスなどが含まれています。家庭内で広げないために、適切な処理と処理後の手洗い・うがいが必要です。

汚物の処理法

- 使い捨てのマスクや手袋を着用します
- 汚れた衣服は100倍に薄めた塩素系漂白剤に5～10分浸し、消毒します。色落ちが気になるものは85℃以上のお湯に2分以上浸します
- 汚れた場所もしっかり消毒します



子どもの冬の**服装**

インナー **編**

重ね着であたたかくする意味でも、遊んだ時に体を冷やさないよう汗を吸ってもらう意味でも大事な肌着。冬の肌は乾燥するので、刺激の少ない素材がおすすめです。

アウター **編**

外遊びの時に意外と汚れるので、洗えるものだと便利。フードは遊具などに引っかかってケガをしやすいので注意が必要です。

おすすめはこれ 

上下 **編**

たくさん動き回るので、裏起毛やボア素材だと暑くなってしまいがち。動きやすいよう厚手すぎず、汗を吸ってくれるものが良いですね。



体温調節の力が未熟な子どもたちのために、おうちの方も上手な服選びを手伝ってあげてください。